



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：ハーマーネ石油相の発言

(6月12日付現地報道)

11日にクアラルンプールで開催された「第12回アジア石油・ガス年次コンファレンス2007」におけるハーマーネ石油相の発言。

1. イランは、アジア5カ国で実施してきた、合計精製能力110万バレルの5件の製油所建設計画に関する可能性調査を完了した。同プロジェクトは、イランのアジア諸国との協力拡大の試みの一環であり、計画される製油所にパートナーとして参加する見込みである。イランはこれら製油所にアジア諸国との相互利益のためにイラン産原油を供給するよう努める。同可能性調査を実施したのは、中国、シンガポール、インドネシア、マレーシア及びシリアである。
2. 今後20年において中国とインドは2つの潜在的な主要消費国となるであろう。エネルギーの主要供給国及び日本、中国、インド、韓国などの主要消費国で構成されるアジア・エネルギー市場の創設を提案する。西アジアの原油供給国とアジアの消費国で構成される同グループは、相互利益を実現することができるであろう。
3. イランは2014年までに、原油生産能力を現在の日量430万バレルから日量530万バレル、ガス生産能力を現在の日量5億6千万立方メートルから日量15億立方メートルに増加させることを目標としており、目標達成のために930億ドル程度の外国からの投資及び430億ドル以上の国内からの投資を必要とするであろう。イランは投資額及び必要とする技術を国内のみでは確保できない。
4. イランは今後5年間に精製能力を日量162万5千バレルから日量294万バレルに増加させるため、120億ドル程度の投資を必要としている。
5. 24フェーズに分割し開発されているサウスパルス・ガス田は、開発完了予定の2014年までに日量7億5100立方メートルのガス生産を計画している。5フェーズは生産中、5フェーズ年内に生産開始、8フェーズは2011年までに生産開始、残りのフェーズは2014年までに生産開始予定である。
6. (原油価格低下のためOPECは市場への供給を増加させるべきかとの問いに対し)市場では原油は不足しておらず、OPECは生産量増加を計画していない。原油の商業在庫は現時点で高水準にあり、1バレル69ドル程度という高価格は原油供給を原因とするものではない。